

追悼 宮脇昭先生 ～「いのちの森づくり」のご指導に感謝！～

2021/08/06

潜在自然植生理論に基づく「その土地本来の木による本物の森づくり」を世界各地でご指導された生態学者の宮脇昭先生（横浜国立大学名誉教授）が、2021年7月16日にご逝去されました。（享年93歳）先生の多大なご功績を称え、生前に賜りましたご指導ご交誼に心より感謝申し上げますと共に、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。



宮脇先生には、2006年4月、福祉工場「しんわルネッサンス」植樹祭（52種類4,888本）を、また、2009年6月、生活介護施設「進和万田ホーム」植樹祭（52種類3,440本）を直々にご指導頂きました。宮脇方式（混植・密植）により植樹した上記2施設を囲む木々は、今では、素晴らしい「森」に生長し、私達の活動を見守ってくれています。

2006年10月、進和学園における「いのちの森づくり」プロジェクトがスタート！宮脇先生はじめ多くの皆様に支えて頂き、15年目を迎えています。「自然の森は、色々な種類が混ざり合っている。仲の良いものだけ集めても駄目。人間社会も同じ。混ぜる。混ぜる・・・」という先生の教えは、お互いに個性を尊重して切磋琢磨し、競争しながらも少し我慢して共に生きるという「多様性」と「共生」の理念を分かり易く伝えてくれます。



2012年5月17日 「しんわルネッサンス」にて



2006年4月22日
「しんわルネッサンス」植樹祭



2009年6月7日 「進和万田ホーム」植樹祭

「いのちの森づくり」は「人づくり」に繋がり、そこに、私達は、障害のある方達の自立・就労支援の可能性を確信しています。今では、他の福祉施設の皆さんとの協働による森づくりチーム「どんぐりブラザーズ」活動に発展、障害のある方々にディーセントワーク（Decent Work：働き甲斐のある人間

らしい仕事) をもたらしています。どんぐりや木の実を集めてポット苗を育て、植樹・育樹作業を継続することは、ささやかながら地球環境保全や防災にも貢献します。教育・福祉、更には、SDGs (持続可能な開発目標) にも通ずる付加価値の高い取り組みと言えます。



進和学園「どんぐりハウス」ご視察 2008年3月10日



「いのちの森づくり」講演会 2012年5月17日
～「しんわルネッサンス」にて～



どんぐりブラザーズと植樹大作戦 2014年11月23日 湘南国際村めぐりの森



宮脇先生に活動ご報告 2017年6月28日



第16回湘南国際村めぐりの森植樹祭 2019年5月12日

宮脇先生にご指導頂いた「いのちの森づくり」をこれからも地道に実践することで、先生のご恩に報いて参りたいと思います。宮脇先生！親身なるご指導を頂き、有難うございました。先生の教えをしっ

かりと胸に刻み、一同で力を合わせチャレンジして参ります。



「しんわレネッサンス」植樹祭 2006年4月22日



植樹後15年が経過・見事な森に！ 2021年8月6日